

# 塗料メーカーとして与えられた課題に誠実に対応し、 持続可能な社会づくりに貢献します。



## 創業80周年をこえて～ 先駆者から学ぶこと、受け継ぐこと

当社は2009年に、創業から80周年を迎えましたが、その事業史の原点となったのは錆止め塗料「ズボイド」の開発でした。

「ズボイド」は当時の市場が求めていた防錆能力を卓越した形で実現し、幸いに多くのお客様の支持を得ました。この製品が市場に広く迎えられたのは、当社の防錆技術への限りない研究心と、世の中に有用な製品を送り出すという確固たる信念が評価された結果といえます。こうした先駆者たちの

熱い思いは、「広く社会の繁栄と豊かな暮らしの実現に役立つ企業」をめざす当社の理念となって現在まで脈々と受け継がれております。

創業以来今日に至る当社の歴史の中で、私が入社したのは1971年のことです。この年の7月に環境庁（現環境省）が発足し、わが国における本格的な環境行政がスタートしました。それから40年近い時間が流れましたが、私たちを取り巻く身近な生活環境を守り、さらに広く地球環境を保全することは、いまや世界共通の認識となっており、当社もその実現に向けて日々の事業活動に取り組むことを重要なミッション（使命）と位置づけています。

環境問題に取り組むことは、企業としての社会的責任をどう果たすか、ということでもあります。

いまから80年前、当社を支え、今日へとつながる道筋を拓いた創業の精神を受け継ぎ、独創的な技術の探求と、それを生かした環境負荷の低減を実現する製品開発を通じて、環境問題と向き合う企業としての社会的責任を果たしていきたいと思えます。

## 高付加価値・高機能指向を製品開発の 基本においています

2009年度は第二次中期経営計画の最終年度でしたが、製品面では一般塗料および工業塗料の両分野において、環境に負荷をもたらす物質を低減した製品や、省力化および省エネルギー化に対応した環境配慮形製品とシステムの開発など、高付加価値・高機能製品の開発と販売に注力しました。いずれも「環境とエコ」をキーワードとしたものです。これらは当社における製品開発を支える発想の原点であり、事業活動を展開するうえでの基軸となるものです。

また、自立式電波塔としては世界一の高さを誇る「東京スカイツリー®」（2012年開業予定）に使用される塗料に、長期的な防食性と耐久性、外観保持、さらには大気汚染防止法に対応したVOC（揮発性有機化合物）の排出抑制など、総合的な

観点から当社の厚膜形ふっ素樹脂塗料「VフロンHB」が採用されました。一方、リニューアルでは神戸ポートタワーの塗装の全面更新において当社製品が使用され、47年ぶりに建設当時の美しさと輝きが蘇りました。

これらは代表的な事例にすぎませんが、ともに「独自技術を生かして社会に有用な製品を送り出す」という当社の創業精神が結実したものといえます。

国外では、2010年7月に中国、シンガポール、タイなどアジア圏における現地供給体制の整備の一環で、ベトナムにおいても国営企業である「LILAMA3」社と塗料販売の合弁会社を設立しました。船舶や構造物向けの重防食塗料の事業展開を中心に、アジア諸国の社会資本やインフラ整備への貢献を主眼とした海外事業戦略は今後も拡大させていく予定です。

## 社会のニーズをとらえ、 環境対応形製品の開発を加速させます

2010年4月、環境省は「環境経済成長ビジョン～チャレンジ25を通じた経済成長」を発表しました。これは1990年比温室効果ガス25%削減による地球温暖化防止への取り組みを、経済成長戦略に直結させることを狙いとしたものですが、塗料業界としてもより積極的な対応が求められることになりました。

すでに当社は、塗装するだけで太陽熱による室内温度の上昇を抑え、その結果として空調に必要な電気消費量を削減する遮熱塗料「エコクール」を、業界に先駆けて製造段階でのCO<sub>2</sub>排出量をオフセット(相殺)する製品として販売しています。また鋼構造物やコンクリート躯体を腐食から保護する防食塗料分野においても、環境に負荷を与えることが少ない製品を開発し、着実な成果を生み出しつつあります。

当社ではこれからも塗料メーカーとして持続可能な社会づくりに貢献できる道を探求し、社会のニーズに的確に応えられる環境対応形製品の開発を加速してまいります。

## 「信頼」をひとつずつ確かな形にしていきます

化学物質の開発から製造、流通、使用、最終消費を経て廃棄にいたる全過程において、環境や健康、安全面の対策を行い、改善をし、その活動の成果を公表する自主管理活動をレスポンシブル・ケア(RC)といいます。当社は日本レスポンシブル・ケア協議会(1995年4月設立)に加入し、社内における

レスポンシブル・ケア活動の実施を宣言しました。以来、環境・安全・健康の課題に対して全従業員が一体となった活動を続けています。

また、日本化学工業協会(JCIA 日化協)に加盟している会員会社として、世界各国の化学工業協会と各企業が連携し、RC活動を世界的に強化することを求める「RC世界憲章」の制定に向けた活動にも取り組んでいます。

レスポンシブル・ケア活動は社会から信頼される企業のあり方とも無関係ではありません。社内においては「内部統制・業務改革プロジェクト」を当社に続いて関係会社に展開し、2009年1月から本格稼働を開始しました。これもまた、信頼される企業をめざして当社が取り組むべき重要な課題のひとつでした。

このプロジェクトの展開によって、企業倫理の徹底と適正な業務執行の維持と強化を実現し、経営基盤の整備とともに地球環境保全活動、適切な情報開示、社会貢献活動など企業の社会的責任を果たしてまいりたいと思います。

## さらに前へと向かうために

環境問題に関する取り組みに終わりはなく、当社では今後も環境負荷の低減を実現する製品開発に全社を挙げて取り組んでまいります。

最近の成果のひとつとして無公害の防錆顔料の開発があります。

これは重金属を含まない鉛・クロムフリーのため、人体への安全性確保にすぐれ、環境にも優しいという、きわめてオリジナル性の高い防錆顔料です。当社の創業製品である「ズボイド」の後継品として新しい時代を切り拓くものと期待できる製品といえます。創業80年から次の展開をめざす節目において、これまでの事業史をつなぎ、さらに前へと向かう新製品が生まれたことに運命的なものを感じるといえば大げさでしょうか。

しかし、これも新しい歴史を刻むためのステップにすぎません。当社はこれからも企業経営・事業活動・製品開発などさまざまな分野において、社会から必要とされ、信頼される企業であり続けるためにさらなる努力を重ねてまいります。

代表取締役社長 いわさ としじろう  
**岩浅 壽二郎**